

第60回所信表明質疑一覧表

29. 12. 7

順位	氏 名	項 目	要 旨	答 弁
1	高瀬 洋	<p>「新庁舎・市民交流施設」を核としたにぎわいづくり (P.5)</p> <p>「健康」をキーワードとしたまちづくり (P.6)</p> <p>豊かな人材を育てる 「教育」の充実 (P.9)</p>	<p>健康ゾーンというのは、基本構想に記載のある、新庁舎や交流施設の中の一つのゾーンなのか。</p> <p>(健康ゾーンを設けることにより、全体のスペース計画≪基本構想では、新庁舎と交流施設合計で9,100㎡≫に変更が生じるのかを問う。)</p> <p>健康ゾーンの機能について (医師会など関係団体とも連携しながら、健康ゾーンを拠点とした疾病予防や介護予防、健康増進に向けた取組とあるが、健康ゾーンとは。また、にぎわいづくりに交流施設と相乗効果を発揮できるのか。)</p> <p>ライフステージに応じた健康づくり活動への支援などを通じて市全体に輪を広めるための取組について (こころの健康を高めるために、「生涯学習」や「まちづくり」の観点でのフロアマップも想定しているのか。)</p> <p>全国トップレベルの学力を目指した学力向上ウィークの実施について (どういった人が対象となるのか。また、どのような指導を行うのか。対象期間外でも継続的な指導が実施できる仕組みになっているのか。)</p> <p>市長特別授業など、郷土愛を育む教育について (市長特別授業以外に児童生徒に体験を通じてふる里の素晴らしさへの気づきを促すなどの予定はあるのか。)</p>	市長
2	東野敏弘	<p>「新庁舎・市民交流施設」を核としたにぎわいづくり (P.5)</p>	<p>「市庁舎と市民交流施設については、市民の利便性・職員の生産性・施設の稼働率を重視し」とあるが、具体的にどういうことなのか。</p> <p>職員の生産性とあるが、職員の働きやすさではないのか。生産性と働きやすさとは、どう違うのか。</p> <p>まちづくりの原動力は「人」とであると述べているように、職員はまちづくりの中核ではないのか。</p>	市長

順位	氏名	項目	要旨	答弁
		豊かな人材を育てる 「教育」の充実について (P.9)	市長特別授業を、今後、「郷土愛を育む教育」の充実・発展にどう繋げていくのか、学校での郷土学習との連携をどのようにとっていくのか。 また、「卓球を通じた生涯スポーツの推進も図っていく」とあるが、具体的な取組としてどのようなことを考えているのか。	市長
3	村岡栄紀	はじめに (P.3)	人口減少に歯止めがかからないという状況に対する認識と施策の方向性は。 地域経済低迷が続く最大要因は何か。	市長
		地域特性を活かした 「経済」の振興 (P.7)	産業構造の多重化において、その一躍となる新産業とは何か、また、市民にとって優良な働く場とはどのようなものなのか。 新規用地の確保や既存用地への産業誘導に向けてどのような策を講じるのか。	
		市民生活を支える「住みやすさ」の向上 (P.11)	「地域包括ケアシステム」は、高齢者の生活にもっとも近い自治体である市町村に期待される役割は大きいとされており、取組により自治体間格差が起こるとも言われているが、施策展開の考え方は。 高齢化によって社会保障給付の対象者が相対的に増えるのに対して、財源となる保険料や税金は伸び悩むとされている中、地域の実情に応じた「地域包括ケアシステム」を構築するための、最重要点は何だと考えるか。	
4	岡崎義樹	「新庁舎・市民交流施設」を核としたにぎわいづくり (P.5)	新しい市庁舎と市民会館としての機能も果たす市民交流施設の整備は、本市の将来に大きな影響を及ぼす50年に一度の大事業であり、中心市街地活性化の起爆剤ともなる。 (中心市街地活性化の起爆剤としてどう波及させていくのか。) 市民の利便性・職員の生産性・施設の稼働率を重視する。 (施設の稼働率をどのようにしてあげようとしているのか。)	市長
		市民生活を支える「住みやすさ」の向上 (P.10)	防災対策については、頻発する台風や局地的な豪雨などに対応するため、地域の実情に応じた水害対策を進める。 (今後、水害対策をどのように進めようとしているのか。)	

順位	氏名	項目	要旨	答弁
			地震への備えも含め、被害を最小限に食い止めるためには、心構えも非常に重要であり、防災意識の高揚や、地域防災力の強化を図る。 (被害を最小限に食い止める対策など、どのような考えで進めようとしているのか。)	市長
5	浅田康子	がんばる「人」が輝けるまちづくり (P. 3)	女性の活躍支援や、高校生・大学生など若者の活躍支援について ①女性活躍の視点に立った支援を今後どのようにしていくのか。 ②若者の視点からの様々な提案やアイデアをまちづくりに取り入れるとあるが、今までの提案の中で市長がこれはいいアイデアだと思った提案はあったか。 ③今後どのように展開するのか。	市長
		地域特性を活かした「経済」の振興 (P. 7)	酒蔵の復活により雇用の創出、地産地消の推進、交流人口の拡大など様々な相乗効果について ①酒蔵の復活の進捗状況を問う。 ②様々な相乗効果が期待できるとあるが、具体的に期待できる効果とは。	
6	近藤文博	復活から躍動へのキーワードについて (P. 3)	本市の強みを活かしたオリジナルな施策とは。上記施策をどのようにして「復活から躍動へ」展開させるのか。	市長
		地方創生の重点プロジェクトについて (西脇ファッション都市構想) (P. 7)	西脇ファッション都市構想の推進について (現在の進捗状況について) 既に定着しつつある若手デザイナーの今後の進路は (それぞれの企業にそのまま採用継続する予定か。継続する場合、更なる定着に向けての支援はどうなるのか。)	
			彼らの活動により産地にイノベーションを起こし、最終製品の創出を目指すことについて (播州織の最終製品開発にはリスクが多く、消極的な業者の声を聞くが、最終商品の生産販売に向けて行政のできる支援は何があるのか。)	

順位	氏名	項目	要旨	答弁
7	村井正信	はじめに (P. 1)	4年前の所信表明で、経済の復活、教育の復活、住みやすさの復活を訴えている。今回の所信表明を読むと、市長として推進できた点については理解できたが、反省点はどんなところになるのか。どの程度復活したと考えているのか。 「まさに生き残りをかけたといっても過言ではない地域間競争が激化している」と日本の現状を捉えているが、市長はこの現状をどのように考えているのか。	市長
		がんばる 「人」が輝けるまちづくり (P. 4)	「テーマに沿った社会的課題」とは、「社会的課題」は、環境、教育、経済、人権、労働、貧困、医療等非常に広い範囲に渡るが、世の中の課題全般と捉えて良いのか。	
		地域特性を活かした 「経済」の振興 (P. 7)	「既存商工業については、…」とある。前回は「にぎわいのある商店街づくり」と明記していたが、今回はない。地元商店は市民のお金が地元で循環する一番大切な役割を果たすと考えるが、地元商店のにぎわいについてはどのように考えているのか。	
		豊かな人材を育てる「教育」の充実 (P. 9)	4年前の所信表明では、「心の豊かさを育む教育も重要であり、人権教育を進めていく」とある。しかし今回の所信表明では、「家庭や地域と一体となって、心豊かな人づくり」とあるだけで「人権」についての言及がまったくない。なぜ、「人権」の項目がなくなったのか。	
		おわりに (P. 14)	「市民の皆さんの声にもしっかりと耳を傾けながら」までの文脈は、「本市で活動する人が輝き…西脇をもっと元気にしていきたい」。そして市民の声にもと続く。これを読むと、活動する人を中心にまちを作り上げ、ついでに市民の声も聞きますとを感じる。市長はどのような想いでこのような表現をしたのか。	
8	坂部武美	はじめに (P. 2)	新たな動きが芽吹きつつある ①新たな動きが芽吹きつつあるとは、どのような動きか。どのような手ごたえを感じているのか ②芽吹けば次に花が咲き、実がなる。新たな動きをどのように結実させようと考えているのか	市長

順位	氏名	項目	要旨	答弁
			<p>活性化につながる基盤づくり</p> <p>①ファッション都市構想やおもてなし支援事業などが、どのような形で活性化に繋がる基盤づくりとなったのか</p> <p>②播州織が低迷するなかで、播州織の振興そのものの基盤づくりも進んだのか</p> <p>③ファッション都市構想によって播州織の出荷額は増えたのか</p>	市長
			<p>投資に見合う効果</p> <p>(新庁舎・市民交流施設の建設によって、両施設は、どのような投資に見合う効果を発揮させようとしているのか)</p>	
			<p>復活から躍動へ</p> <p>①経済・教育・住みやすさは、何がどのように復活したのか</p> <p>②もし、復活していないのならば、復活していないのにどのように躍動させるのか</p> <p>③躍動と躍動感の違いは</p> <p>④キーワードを「躍動」としながら、以後躍動感という記述はあっても、躍動の記述は出てこない。躍動感は目的か手段か</p>	
		<p>がんばる「人」が輝けるまちづくり (P.3)</p>	<p>がんばる「人」が輝けるまちづくり</p> <p>①がんばる人とはどういう人か</p> <p>②人が輝くことができるまちづくりとは</p> <p>③がんばろうとしても頑張れない人などは輝けるまちづくりとならないのか</p>	
			<p>バックアップし、活力向上を図る</p> <p>(どのような人をバックアップし、どのような方法で活躍できる環境を進めるのか。その結果どのような活力が生まれるのか)</p>	
		<p>「新庁舎・市民交流施設」を核としたにぎわいづくり (P.5)</p>	<p>稼働率を重視</p> <p>(市庁舎と市民交流施設の稼働率とは。何%を目指しているのか。稼働率はどのようにすれば上がるのか)</p> <p>健康ゾーン、にぎわいを生み出す施設</p> <p>①健康ゾーンとは、どこに、どのようなものか</p> <p>②にぎわいを生み出す施設とは</p>	

順位	氏名	項目	要旨	答弁 市長
		地域特性を活かした「経済」の振興 (P. 7)	最終製品の創出 (最終製品の創出に向けた支援とは)	市長
		豊かな人材を育てる「教育」の充実 (P. 9)	豊かな人材 (教育における育てる豊かな人材とは)	
			引き続き全国トップレベルの学力を目指し (引続き目指すということは、トップレベルに達していないということか。トップレベルに達する目標年次は)	
			質の高い教育・保育 (質の高い教育・保育とは)	
		市民生活を支える「住みやすさ」の向上 (P. 11)	一流の芸術・文化に触れる機会の充実 (一流の芸術・文化に触れる機会とは)	
			水害への備えを見える化 (水害への備えの見える化とは)	
		「いのちの道」 (175号はなぜ「いのちの道」なのか。427号は。JR加古川線は)	多彩な活動などを見える化 (市民活動の見える化とは)	
			おわりに (P. 14)	
9	寺北建樹	復活から躍動へ (P. 3)	この4年間で何が復活したのか?	市長
		「新庁舎・市民交流施設」を核としたにぎわいづくり (P. 5～)	市民の利便性・職員の生産性・施設の稼働率とは何か?	
			にぎわいを生み出す施設とは何か?	
			健康ゾーンを拠点とした疾病予防や介護予防、健康増進に向けた取組の具体像とは	
		地域特性を活かした「経済」の振興 (P. 7～)	西脇ファッション都市構想の推進と播州織産地の維持はイコールなのか?	
			日本のへそ・地域食材でおもてなし支援事業の推進で、農業、商工業、観光の連携による経済の好循環づくりの具体策は?	
		豊かな人材を育てる「教育」の充実 (P. 9～)	いじめや不登校などの未然防止に努め、子どもたちがいきいきと、のびのびと学べる環境づくりとは? 近隣市町と比較して現状は?	

順位	氏名	項目	要旨	答弁
10	村井公平	地域特性を活かした「経済」の振興 (P. 7)	新規用地の確保や既存用地への産業誘導 (新規立地企業用地について、時期、面積、場所についての予定は。 既存用地の産業誘導には、特別指定区域等都市計画の変更が必要であるが、どこまで行う予定か。また、既存用地には健康ランド跡地も含まれているのか。)	市長
			農業の担い手不足や後継者不足対策の新たな担い手育成策とは (新たな担い手育成の具体的な取組内容について)	
		豊かな人材を育てる「教育」の充実 (P. 10)	質の高い就学前教育・保育について (質の高い就学前教育・保育への取組内容について)	
			東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンについて (卓球を通じた生涯スポーツの推進を図るとあるが、具体的にはどのように思われているのか)	
11	古西祐子	市民生活を支える「住みやすさ」の向上 (P. 12～)	環境について 前回の所信表明では、「環境」をキーワードとしたまちづくりをあげていたが、今回の所信表明ではないのはなぜか。 (1期目では、西脇のブランド力を高めるため、「環境」をキーワードとしたまちづくりを重要視していたと思うが、その考えは変わったのか。もしくは、当初の目的が達成されたということか。環境に対する市長2期目の考えを聞く。)	市長
			新たな取組の考えは	
			空き家対策について 良質な空き家物件の利活用の方策について (市長はどのように空き家を活かしていこうと思っているのか。)	